

就労支援部会 報告書

会議名	第 2 回 就労支援部会		
開催日時	令和 4 年 1 月 28 日（金）10 時～12 時		
開催方法	オンラインを併用した対面開催（板橋区役所 北館 11 階 第四委員会室）		
出席者数	6 名（内オンライン 3 名）	傍聴者数	2 名

報告事項（1 件）

議題名	地域生活支援拠点の整備における体験の機会・場の提供（就労）について
概要	・ 前回、委員から提供された情報をもとに、板橋区において、どのような体験の機会・場の現状があるかを整理した。現時点では、ハートワークを拠点とし、カフェこすもす・スマイルマーケット高島平駅ナカ店での就労体験に関する相談等の対応・調整を行っている。 ・ 提供された情報にあった、就労移行支援事業所や民間企業等についても区の資源と捉え、地域生活支援拠点の整備の検討状況により、連携方法等を協議していく。 ・ 今後、地域生活支援拠点の整備についてホームページ等で周知する際、今回整理した情報を掲載していく。
主な意見・質問	・ 東京都管轄の機関が実施している職場体験事業は人気が高く、使いたいときにすぐ使えるものではない。そのため、就労移行支援事業所が個別に繋がりのある企業に協力いただいている。 ・ 近年、就労移行支援の利用者が若年化している傾向があり、働くことのイメージをより理解していただくため、実際に企業に出向き、見学から実情を知ることが非常に重要と考える。 ・ 志村学園はハローワークを通じて多数の企業との付き合いがある。企業、就労移行支援事業所、志村学園などがうまく連携していけると、より良い障がい者雇用につながる感じた。
今後の方向性	・ 地域生活支援拠点の整備の検討状況により、就労移行支援事業所や民間企業等の活用・連携方法を協議していく。 ・ 地域生活支援拠点の整備についてホームページ等で周知する際には、整理した情報を掲載していく。

協議事項 (1 件)

議題名	民間企業における障がい者雇用のニーズ・実態の把握、支援策の検討について
概要	・ 前回の意見を踏まえ、民間企業における障がい者雇用の調査について、次の 4 つの方策に整理した。 (1)セミナー参加企業への調査 (2)区内民間企業への調査 (3)関係企業への調査 (4)就労支援機関への調査 ・ (2)については、Web 等によるアンケート調査を予定（設問案あり）。 ・ 東京労働局が発表している障がい者雇用状況の集計結果等を踏まえ、本案件に係る企業ターゲット案を「雇用率や制度を知っているが、何らかの障壁により雇用率が進まない、45.5 人～300 人規模の企業」とする。 ・ 4 つの方策案及び設問案、ターゲット案等について、意見を伺いたい。
主な意見・質問	・ 4 つの方策は、いずれも大切だと考える。Web アンケートについて、どれだけ回収率を上げられるかが重要。Web アンケートはどのような形で投げかけていくのかを伺いたい。また、直接企業等に出向き、人事担当者などの意見を伺う(1)や(3)なども、軽んじてはいけない。より重きを置いて取り組んでも良い。 →区では事業規模ごとの企業を把握する術がないため、提案なども賜りたい。 ・ アンケートとヒアリングを並行するスタイルは効果的だと考える。 ＜Web アンケートの依頼について＞ ・ 志村学園では卒業生が就労している企業に対し、区からの依頼で協力いただけないかという投げかけは十分できる。また、企業へのヒアリングもお願いしやすい。 ・ 商工会議所の会員企業へのアプローチも協力できる。 ＜回収率の向上について＞ ・ アンケートに答えるメリットがあると回収率が上がると考える。例えば、回答することで何らかの情報が得られるなど。 ・ 企業名の記名、無記名で回収率が変わる。企業名を記名いただければ次につなげることができるが、回収率が下がることも考えられる。 ＜設問について＞ ・ どれも非常に重要な設問だと感じた。 ・ アンケートの項目はおおむね良いと感じる。
協議結果	・ 4 つの方策案や設問案、ターゲット案の方向性は合意が取れたため、Web アンケートの設問案、調査方法、スケジュールなどを改めて整理し、次回の当部会で示し、調査を開始する。 ・ スケジュールの都合上、場合によっては会議の開催によらず、設問案について意見を求めるなどの協力をお願いする。